



PERFECT
SERIES

PERFECT
TRUE MATTE

1 液水性ラジカル制御形ハイブリッド高耐候性つや消し塗料

パーフェクトトゥルーマツト

上質な
マット感

高い
耐久性

すぐれた
仕上がり性



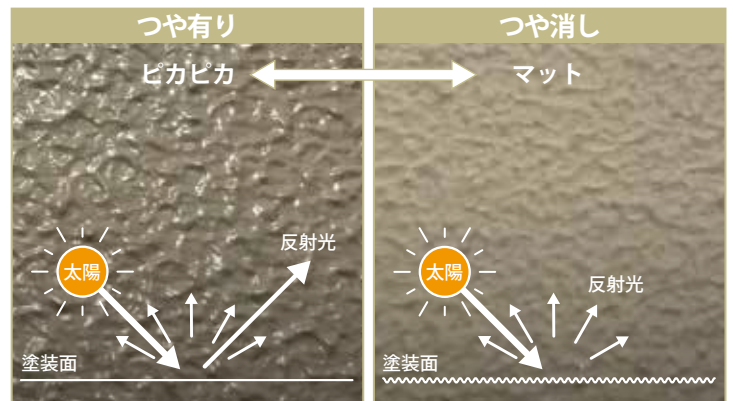
PERFECT TRUE MATTE

真のつや消し塗料 パーフェクトトゥルーマット

落ち着いたマットな質感で、上品な雰囲気演出。周囲の環境とも馴染みやすく、ナチュラルなイメージに仕上がります。つや消し塗料で不安視されがちな、高耐候性や割れにくさ、低汚染性についても優れた性能を発揮します。

そもそも「つや」とは？

光を塗膜に当てると、光は様々な方向に反射します。その中でも正反対方向に反射する光の量が多いとピカピカとした「つや有り」、少ないとマットな「つや消し」と呼ばれる状態になり、見た目の印象が変わります。つや有りを外壁に塗るとピカピカした塗りたての新しい印象を受けますが、その一方で経年劣化とともにつやが失われる傾向があります。一方つや消しは落ち着いた雰囲気、マットな状態が変わることなく、上質な印象が長く続きます。



こんな場所にはトゥルーマットがおすすめです

- つや消し外壁の塗り替えに。当社インディアートセラやスタッコ、リシン仕上げなど。
- サイディングボードの塗り替えに。例えば南欧風、和風などの戸建て形状にもオススメです。
- その他、マットでナチュラルな仕上がりにしたい場合に。

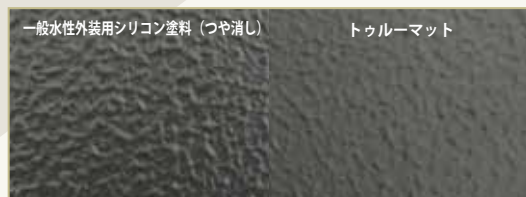


※写真はイメージです。

“6つの特長”で、外壁を美しく守ります

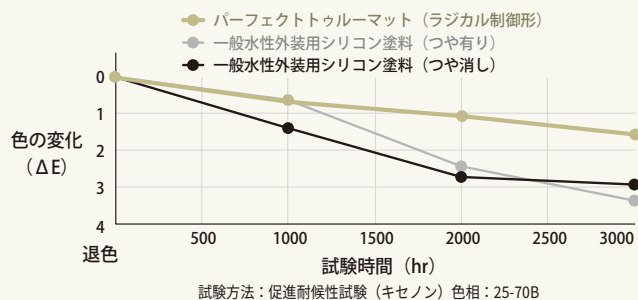
1. 真のつや消し

トゥルーマットはわずかなつやも残らない、“真のつや消し塗料”です。多くのつや消し塗料は、つや有りの塗料をベースに作られるため、どうしてもわずかなつやが残りますが、トゥルーマットはイチからつや消し塗料として開発。緻密な塗膜構造でいわゆる「奥つや」と呼ばれるわずかなつやも残りません。



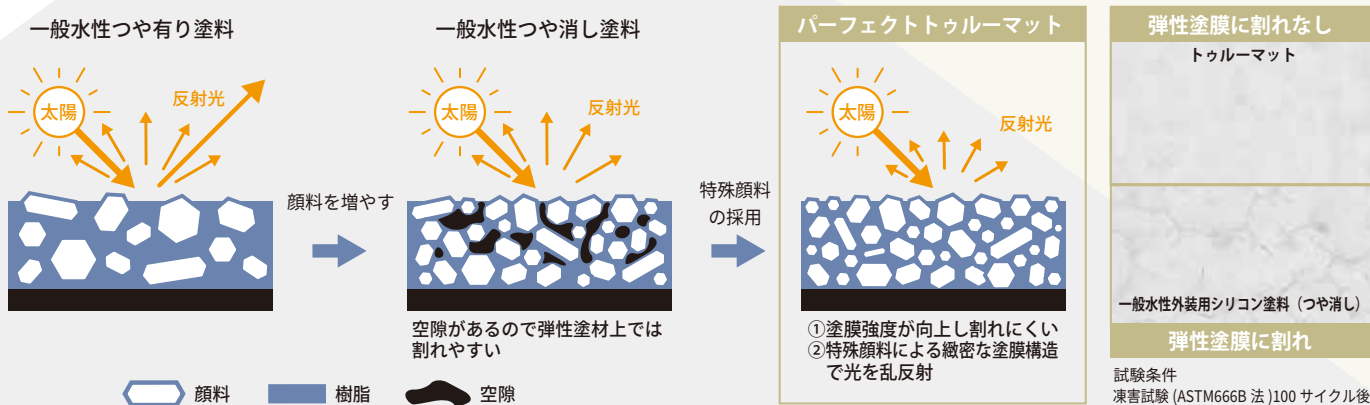
2. すぐれた耐候性

当社が業界に先駆けて開発した「ラジカル制御技術」を採用。紫外線による塗膜劣化を防ぎ、従来のシリコングレードを超える高耐候性を実現します。色の变化が起こりにくく、きれいな外観を長く維持します。



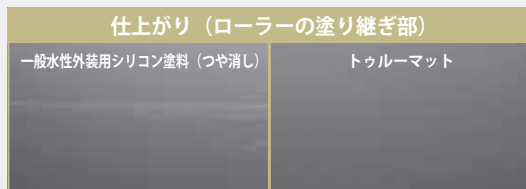
3. 割れにくい

顔料を多く配合していることで、割れやすくなる傾向があるつや消し塗料ですが、トゥルーマットは特殊顔料を採用することで「塗膜強度向上によるヘアクラック抑制」と「緻密な塗膜構造によるすぐれた仕上がり性」を両立しました。そのため弾性系既存塗材への塗り替え塗装も可能です。※弾性仕様の場合には下塗りに DAN フィラーエボをご使用ください。



4. むらになりにくい

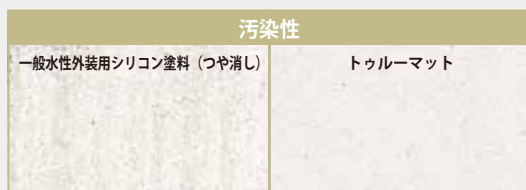
わずかにつやがある塗膜の場合、ローラー跡が「つやむら」として残ることがありますが、完全なつや消しにすることで吸い込み差による「つやむら」を軽減。仕上がりの良さに繋がります。



試験条件：平滑面に中毛ローラー塗装 (各塗料 5% 希釈)

5. 汚れが付きにくい

つや消し塗料は表面に細かい凹凸があるため、汚れが付きやすいと思われがちですが、トゥルーマットは汚れが付きにくく、外壁を美しく保ちます。



試験条件：屋外暴露 6 か月後 (東京)

6. 防藻、防かび

防藻・防かび機能で、藻やかびの発生を抑制し美観を維持します。オプションで強力防かびを選択することも可能です。

適用下地

	適用下塗り塗料	適用下地：塗り替え改修用
外壁	<ul style="list-style-type: none"> ● パーフェクトサーフ ● パーフェクトファイラー ● 水性パーフェクトシーラー ● ファインパーフェクトシーラー 	<ul style="list-style-type: none"> ● アンダーファイラー弾性エクセル ● DANファイラーエポ/エポS ● DANファイラーフレックス ● パーフェクトプライマー
		<ul style="list-style-type: none"> ● モルタル面 ● コンクリート面 ● 窯業系サイディングボード ● ALCパネル面

※弾性仕様の場合には下塗りにDANファイラーエポをご使用ください。※弾性スタコや弾性リシンは適用できません。

乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

荷姿

色相	つや	容量	塗装方法
各色	つや消し	15kg、4kg	ウルローラー・はけ・エアレススプレー

標準塗装仕様(塗り替え)

●モルタル面、コンクリート面の塗り替えなど

仕様	塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法	
微弾性仕様	下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。ごみ、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。釘頭のさびはサンドペーパー、研磨布などを用いて除去し、さび止め塗料で補修塗りをする。							
	下塗り	ニッペパーフェクトファイラー	1	0.20~0.45	4時間以上	水道水	3~8	ウルローラー	
				0.50~0.90			1~5	砂骨ローラー	
上塗り	ニッペパーフェクトウルマツ	2	0.13~0.17	3時間以上	水道水	2~5	ウルローラー・はけ・エアレススプレー		
弾性仕様	下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。ごみ、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。釘頭のさびはサンドペーパー、研磨布などを用いて除去し、さび止め塗料で補修塗りをする。							
	下塗り1	ニッペDANファイラーエポ	1	0.8~1.30	4時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー	
	下塗り2	ニッペDANファイラーエポ	1	0.8~1.30	16時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー	
	上塗り	ニッペパーフェクトウルマツ	2	0.13~0.17	3時間以上	水道水	0~10	ウルローラー・はけ・エアレススプレー	

●サイディングボード、ALCパネル面の塗り替えなど

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。 下地処理の際は、ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッペパーフェクトサーフ	1	0.20~0.40	3時間以上	水道水	2~5	ウルローラー・はけ
上塗り	ニッペパーフェクトウルマツ	2	0.13~0.17	3時間以上	水道水	0~10	ウルローラー・はけ・エアレススプレー

弾性仕様の場合には下塗りにDANファイラーエポをご使用ください。

施工上の要点と注意事項 ※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

1. 1区内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。2. つや調整品は、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。3. 遮光剤を塗るなど本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。4. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、顔色、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。5. つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かき混ぜながら使用してください。6. 防藻・防カビ効果は、塗膜の乾燥によるものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。7. 被塗物の構造、部位、塗装仕上がり形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が現れない場合があります。8. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。9. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露がある場合や、低温・高湿度、通風の悪い場合は、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。10. 色相によっては除菌、殺菌によるぬれ色になる場合がありますが、乾燥するに元に戻ります。11. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤で拭き取り、せっけん水で洗浄してください。12. シンナーの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因となります。13. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じる場合がありますが、時間とともになくなります。14. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。15. 動物のはけは、はけが固まったりタマになりやすいため、できるだけナイロンはけをご使用ください。16. 旧塗膜に発生したカビは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着陰影をおさえおそれがあります。17. 既存塗膜の塗料は、既存塗膜の塗料でパターン合わせを行ってください。18. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラー、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。19. シーリングの上には、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。20. 蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡クレタ使用建材など)を使用し、高熱型外壁で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタコ、アクリトルップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が割れていることがあります。そのまま塗装すると割れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また、高熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なると、建材の変形、塗膜の割れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。21. タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗膜面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。22. 塗膜表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科科学社製CH-2型)で測定してください。または5%以下(ケツ科科学社製HI500シリンジ)で測定した場合の条件で塗装してください。23. 表面のごみ、ほこり、エプロレス、レイタスなどは除去し、目隠し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。24. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外壁の素地において、貫入や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整剤(ニッペ1材カチオンファイラー、ニッペ1材ファイラー#200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)

25. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。26. 材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エプロレスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用してください。27. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。28. 塗装後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどは、皮脂の影響により塗膜表面の酸化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。29. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合は、塗装を避けてください。30. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。31. 塗装時おび塗料の取り扱いは、換気十分を行い、火気厳禁にしてください。32. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。33. シーリング面の塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則としてニッペパーフェクトNBシールを除去を行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。34. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、割れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。35. 濡れすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。36. 上塗りに付いたイロ・レッド、ブルー・グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に付いた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠れ不出来の場合があるため、事前に試験施工塗り板等で確認下さい。37. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。38. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。39. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面調子が異なるため若くは色相差が生まれるので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。40. ローラー塗りの場合、ローラー目は一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なる場合があり、41. 塗装方法により色相が多少変化する場合があり、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。42. 汚れ、さすなどにより補修塗りが必要となります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。43. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用で使ってください。44. 可塑剤が多含まれる塩ビクロス、塩ビ珪藻土、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることのないようご注意ください。45. 平滑仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや果実によるピンホール、凹凸などを防止するため、PE工程や研磨工程が必要な場合があります。46. 塗料は内容物が均一になるようにはかき混ぜてください。つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて底層の沈降物を十分にかき混ぜて使用してください。47. 耐熱後一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから陰所で保存し、連やけに使用してください。48. 大気中の浮遊鉄成分が多量に地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。49. 塗料漏洩の原因となりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。50. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項(ホワイト) ※使用前に取扱説明書を入力すること。

1. 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
2. 粉じん・煙・ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸ししないこと。
3. 取扱後は、手洗いおよびうがいを行うこと。
4. この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
5. 環境への放出を避けること。
6. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
7. 本来の用途以外に使用しないこと。
8. 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
9. 口をすすぐこと。
10. はく露又ははく露の懸念がある場合/医師の診察/手当を受けること。
11. 吸入した場合/空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

横倒禁止

12. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理すること。
13. 旋回して保管すること。
14. 直射日光や水濡れは厳禁。
15. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
16. 容器は、つり上げないこと。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意すること。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
17. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理すること。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。
18. 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。

■詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

危険	危険有害性情報
	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝性疾患のおそれ ・発がんのおそれ ・臓器の障害 ・長期にわたる、又は反復はく露による臓器の障害 ・長期継続的影響によって水生生物に有害

日本ペイント株式会社

- 北海道支店 ☎011-370-3101
- 東北支店 ☎022-232-6711
- 関東支店 ☎03-5479-3614
- 北関東信越支店 ☎03-5479-3614
- 中部支店 ☎052-461-1960
- 近畿支店 ☎06-6455-9320
- 中国支店 ☎082-281-2180
- 四国支店 ☎0877-56-2346
- 九州支店 ☎092-751-9861

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright © 2022 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ: <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-Z194

TY211208T

2022年9月現在